

〔科目名〕 事業論Ⅱ				〔単位数〕 1 単位		〔科目区分〕 キャリア教育科目	
〔担当者〕 小田切 勇治 Odagiri Yuji		〔オフィス・アワー〕 時間：－ 場所：－			〔授業の方法〕 講義		
〔科目の概要〕 この講義では、流通業が集積する協同組合青森総合卸センター（以下：問屋町）に勤務している講師が、実際に問屋町で営業している企業と連携してその業務内容を紹介し、それぞれの企業の取り組みを通じて、地域における流通業の役割や次世代につなげるためのさまざまな方策を考える。また自身の日々の生活との関連についてあらためて考え、自身のキャリア形成に繋げることを目的とする。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 事業論Ⅰ、Ⅲ、自治行政政策論等とともに各業界・業種の理解を深め、さらにインターンシップに繋げることで自身のキャリア形成に役立てることができる。							
〔科目の到達目標〕 中間目標 ・問屋町の歴史、目的、事業、成果などの概要を説明できる。 ・問屋町会員企業について、業種ごとの業務概要を説明できる。 最終目標 ・流通業及び問屋町の役割を理解し、自身のキャリア形成に役立てる。 成績評価基準 成績は各回の授業内レポート及び最終レポート課題で評価します。 A レポート評価 80 点以上 B レポート評価 70 点以上 80 点未満 C レポート評価 60 点以上 70 点未満 D レポート評価 50％以上 60 点未満 F レポート評価 50％未満							
〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
		○	○				
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 流通業及び問屋町について、スライド資料の見せ方も含めて、できるだけわかりやすく講義したいと思います。							
〔教科書〕 配布資料							
〔指定図書〕 特になし							
〔参考書〕 協同組合青森総合卸センターホームページ							
〔前提科目〕 なし							

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 毎回の授業内レポート 10%×7 回、最終レポート課題 2 本×15%=30%	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 キャリア科目の講義として、普段みなさんが意識しない「流通業」について、実際に流通業を営む経営者及び経営幹部と共に実学を中心に講義を行い、今後のキャリア形成にも役立つような授業を心掛けます。 7コマの出席を前提として最終レポート課題を設定しているので、7コマ出席できる学生の履修を望みます。特に1コマ目と7コマ目は最終レポートに大きく影響するので出席が必須です。1 コマ目、7 コマ目に出席できない場合は履修しないことをお勧めいたします。 ※参考 2024 年度協力企業 丸大堀内㈱【食料品・酒類卸】 ㈱角弘【建築資材卸】 ㈱マツダアンフィニ青森【自動車小売・自動車整備業】 ㈱マエダ【小売業】 大青工業㈱【冷熱機器製造業】	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 流通業について 教科書・指定図書
第 2 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 流通業・協力企業の実例から学ぶ① 教科書・指定図書
第 3 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 流通業・協力企業の実例から学ぶ② 教科書・指定図書
第 4 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 流通業・協力企業の実例から学ぶ③ 教科書・指定図書
第 5 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 流通業・協力企業の実例から学ぶ④ 教科書・指定図書
第 6 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 流通業・協力企業の実例から学ぶ⑤ 教科書・指定図書
第 7 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 協同組合青森総合卸センターの歴史、目的、事業、これまでの総括 教科書・指定図書
試 験	課題レポート(1,600 文字×2種類)を課す